

報告書抄録

ふりがな	ながのいせき							
書名	長野遺跡Ⅲ							
副書名	愛荘町長野・川原							
シリーズ名	県道愛知川彦根線単独道路改築事業に伴う発掘調査報告書							
編著者名	北原 治							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月日	平成20年（2008年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査 期間	調査 面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ながのいせき 長野遺跡	えちぐん 愛知郡 あいしょうちょう 愛荘町 ながのかわはら 長野・川原	424	16	35度 11分 15秒	136度 12分 20秒	060925 ∩ 070325	580㎡	県道改良工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
長野遺跡	集落	弥生時代後期		河川跡		弥生土器		埴輪をもつ埋没古墳（沖の矢古墳）の周溝を確認。
	古墳	古墳時代後期		周溝		円筒埴輪・朝顔形埴輪・須恵器		
	集落	奈良時代～平安時代前期		溝、落込み		土師器、須恵器、黒色土器		
要約	<p>今回の調査では、弥生時代後期の河川跡や5世紀末～6世紀初頭頃の沖の矢古墳の周溝、奈良時代～平安時代前期の溝などを検出した。沖の矢古墳は、新たに確認した埋没古墳であり、周溝からは円筒埴輪や朝顔形埴輪、須恵器杯身などが出土した。この古墳は、小規模ながら埴輪をもつ点で、愛知川右岸域の古墳時代後期の社会動向を考える上で貴重な資料といえる。</p>							